

大阪府公立小中学校主査会会報  
**SMILE**  
 (スマイル)

第100号   
 令和7年(2025年)4月1日  
 編集・発行  
 大阪府公立小中学校主査会  
<http://syusakai.main.jp>

SMILE: S chool (学校) M anagement (経営を) I mprove (よりよくする) L Eader (リーダー)

## 新年度あいさつ

平素は本会の活動にご理解・ご協力をいただき、誠にありがとうございます。会員の皆様におかれましては、各所属校でお忙しい日々をお過ごしのことと存じます。

さて、本主査会の会報である「SMILE」が今回で100号を迎えることになりました。それを記念して平成12年(2000年)1月1日に発行され、「SMILE」の第1号にあたる「大阪府公立小中学校主査会会報」を別紙としてつけています。ぜひご一読いただけたらと思います。

「主査会会報」の冒頭、加藤初代会長のあいさつの中で「大阪の学校事務は大きく変化してきたと言われて久しくなります。社会情勢や価値観の変化の中で公務員制度の改正も幾度か行われ、従来から私たち学校事務職員の間で語り継がれてきた学校事務観では対応できない環境になってきています。」という文言がありますが、25年経った今も学校事務職員は激動する社会や学校現場の中に置かれていることに変わりはありません。

しかしながら、歴代の主査会会員の先輩方が行ってきた日々の実践や、特別委員会での研究活動が事務職員の学校経営参画や共同実施の推進・共同学校事務室の設置にも大きな影響を与え、現在の大阪の学校事務を形成する一翼を担ってきました。改めて設立時から本主査会の活動をひっぱってきた歴代の役員・常任理事の皆様と、その活動を支えていただいた会員の皆様に敬意を表します。私たち大阪府公立小中学校主査会は先輩方から渡されたバトンを繋ぎ、今以上にこの「学校事務」という仕事を昇華させていかなければなりません。

大阪府公立小中学校主査会は、主査の職にある者が職務として職責を自覚し、学校改革・学校経営という視点で学校教育に貢献する「主査の役割」を追求することを理念とし、活動しています。

今回の第26回夏季フォーラムでは、「子どもが輝く未来社会の学校事務 ～学校DXで描く新時代の働き方～」をテーマに、これからの学校事務職員の役割やこれからの主査のあり方を考えていきたいと思えます。

なお、来期こそは「特別委員会」設置をと考えております。「特別委員会」の活動とは、時宜にかなった課題について研究・討議を進め、これまでの研究成果も踏まえながら現状の分析と課題改善に向けて検証し、研究成果を主査会の提言として教育委員会をはじめとする関係機関・団体に広く発信する重要な役割を担っており、いわば本会の根幹をなす活動です。1月1日付で発行させていただきました「SMILE」99号の中でも募集をさせていただいておりますが、ぜひともご応募いただきますよう、よろしくお願いいたします。

新たな年度を迎えるにあたり、本主査会常任理事会は、決意を新たに活動してまいりたいと思えます。今後も一層のご理解とご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

### 大阪府公立小中学校主査会 常任理事会一同

会 長	小玉 昌司	常任理事	音野 啓子	常任理事	古瀬 裕司
副 会 長	水野 嘉之	常任理事	宮本 大嗣	常任理事	TUJI LUIS SHUICHI
副 会 長	浅田 悠摩	常任理事	島田 由美子	会計監査	福村 大輔
事務局長	土橋 純子	常任理事	中野 優子	会計監査	林 三智子
事務局次長	大野 潤	常任理事	平湯 智晶		

## 地区連絡会 報告

主査会では、「主査の職務・職責について研究を深めること」「会員相互の意見交流」「主査間の連携促進」等を目的として、原則年に1回、地区ごとに主査連絡会を開催しています。今号ではその様子をお伝えします。

### 豊能地区連絡会

豊能地区主査連絡会は令和7年2月28日(金)に開催され、池田市・豊中市・箕面市・豊能町より7名の参加がありました。

はじめに、総会・研修会、夏季フォーラム、特別委員会などの今年度の主査会の取り組みについて報告を行いました。

その後、各市町の状況や取り組みについて報告があり、事務職員の役職ごとの配置人数、共同実施の体制、義務教育学校の設置、教材費無償化、大阪万博への参加状況、各教育委員会との連携等、様々な話題について活発な意見交流ができました。

市町の規模や各教育委員会の方針などによって、現状や抱えている課題にも大きく差があるということを再認識でき、事務職員を取り巻く環境も急速に変化しているという事を改めて考える良い機会となりました。

次年度以降も、他市町の様々な取り組みに刺激を受けつつ、より盛んな交流を図っていきます。



### 三島地区連絡会

三島地区主査連絡会は令和6年10月28日(月)に開催され、高槻市・茨木市・吹田市・摂津市・島本町から計12名の出席がありました。

摂津市からは、今年度から設置された共同学校事務室の取り組みや、それに伴って研究テーマを変更した市教育研究会の取り組み、事務改善検討会の取り組みと、令和8年度に小学校統合や中学校給食開始、給食費公会計化が控えていることについて報告がありました。

吹田市からは、共同実施の取り組み状況と共同学校事務室設置に向けた動き、市の主査会において新規設置された広報グループの活動に加え、公会計化された給食費・教材費の課題(未納対応等)についても報告がありました。

茨木市からは、2年目となる共同学校事務室の体制や校務支援システム、中学校に導入された自動採点システムの概要、学校徴収金や食数管理に関する課題のほか、旅行命令の復命書についての課題の報告がありました。

高槻市からは、2年目となる共同学校事務室の体制、無償化された給食費について、ネットワークシステムや文書受付事務の変更・改善、取扱金融機関が手数料の問題でゆうちょ銀行となる学校が増えていることなどの報告がありました。

島本町からは、今年度から導入された校務支援システムにおける徴収金管理の概要や課題点、町での夏季セミナーでの発表の概要、共同学校事務室への移行に向けた取り組み等について報告がありました。

各市町において動き出した共同学校事務室の体制や、取扱金融機関の手数料にかかる対応のあり方について主に交流を行いました。徴収金の取り扱いも大きく変わっていくなかで、安定した事務執行環境を整えていくための良い情報共有の機会となりました。

### 北河内地区連絡会

北河内地区主査連絡会は令和7年2月26日(水)に開催され、5市16名が集まりました。

今回はあらかじめ設定した2本のテーマに沿って、各市の状況や取り組みを情報交換しました。

### 《テーマ1》学校徴収金・出退勤・校務支援等のシステムについて

現在使っているシステムやその長所・短所等について情報交換しました。それぞれ製品版が導入されていたり、現場で手作りしたものが使われていたりしていますが、同じメーカーや同じ仕組みのものが使われているなど共通点もあり、「使い勝手や課題も良く似ている」という感想が出ました。

また、国が主導する自治体情報システム標準化に向けた課題について話し合い、様々な予想で盛り上がりました。



### 《テーマ2》組織的な取り組みについて

共同実施・共同学校事務室や市主査会での取り組み、また組織として自慢できるところや課題について話し合いました。どの市もベテランの先輩方の退職により、組織の引継ぎが課題になっているようです。その中でも、主査が市の研修を企画・立案したり、ブロック長となって共同購入を進めたり、定例のオンライン会議で横のつながりを強めたり、新規採用者の所属校へ OJT に出向いたりと奮闘されていることがわかりました。

また、各市の抱える課題や悩みについては、他人事ではなく、参加者全員が頭を絞り解決策を考えようと議論しました。その場で何か解決できるわけではないものの、北河内地区に仲間がいる心強さを感じた会になりました。顧問からは「他市の状況を知るということは大切。ここで得たことを活かして、自分の市に還元してほしい」と激励がありました。

## 中河内地区連絡会

中河内地区主査連絡会は令和6年11月29日(金)に開催され、東大阪市・八尾市・柏原市より10名の参加があり、各市における研修制度や市教研・市事研、事務支援センター等の組織の役割について報告と意見交流を行いました。

連絡会には本主査会会長も出席し、主査会の20年の歩みや活動、会長の所属市である守口市の事務職員を取り巻く環境や体制について説明がありました。



意見交流では、各市の取り組みと事務職員の職務について交流をするなかで、主査の役割や学校事務支援センターの役割についての議論がありました。主査として個々に実践を行うなかにも職階や組織に対する考え方に違いがあり、同じ方向性を共有する難しさが意見としてあがりました。今後は主査の実践事例や、共同実施・共同学校事務室における取り組み等を多く収集したうえでさらなる交流を行い、今後の各市の取り組みの参考になるよう努めていきたいと思えます。

## 南河内地区連絡会

南河内地区主査連絡会は令和6年8月30日(金)に開催され、松原市・羽曳野市・富田林市・河南町・太子町・千早赤阪村・河内長野市から計12名が出席しました。

今年度よりコミュニティスクールが設置された市があり、各市町村でのコミュニティスクール設置状況や取り組みについて交流しました。事務職員、また主査として、今後どういった役割を担っていくのかを考えるきっかけとなりました。

また、共同学校事務室設置1年目の市の状況について、成果や課題とともに、経過や苦労している点なども聞くことができ、参考となりました。



その他、各市町村の研修体制や徴収金システムの導入状況、サービス関係の校務支援システムの運用状況や各市町村での教育委員会と事務職員の関係性についてなど、多岐に渡り話し合いました。

同じ地区内の各市町村の現状や取り組みを交流し、各自が自身の市町村や校区・学校の中での役割に活かすヒントを得る有意義な機会となりました。

## 泉北・泉南地区連絡会

泉北・泉南地区主査連絡会は令和7年2月28日(金)に開催され、和泉市・岸和田市・貝塚市・熊取町・泉佐野市・泉南市から12名の参加がありました。

共同実施については新たに共同学校事務室の設置が2市あった一方で、市教委の方針として共同実施よりも小中一貫(連携)の充実に舵を切っている市の例や、様々な意見から全市的な推進が難しく、一部で自主的に連携活動を行っている例など、それぞれにあり方が模索されている現状が浮かび上がりました。



また、共同実施の意義については事務職員間でも意識に差があるうえ、市教委の方針も関係することから「同床異夢の感がある」という報告もあるなど、共同実施にまつわる根源的な課題が改めて問われている状況もわかりました。

市費予算の執行については、予算の費目内訳を学校からの要望で決められる「予算裁量制」など、合理的な予算執行が制度化されている市の例が報告されました。

徴収金事務ではゆうちょ銀行のシェアの広がりが窺えました。関連して、未納督促における工夫例や、手数料負担元をめぐって市教委に協議をもちかけている例など経験のある主査ならではの知見が光る事例が聞かれました。

校務支援システムやデジタルツールの導入も昨年度以上に進んでいる状況がわかりました。デジタル活用については事務研などで精力的に研究がなされているほか、書類作成を効率化した実践例の紹介や、市教委との連携のもと就学援助申請のWeb化を実現し、事務職員・市教委・保護者ともに利便性の向上がなされた事例も報告されました。

大小さまざまに話題が飛び交い、自分の市町にはない事例に刺激を受けながら、主査としての職責について意識の深化に役立つ連絡会となりました。

### 祝 会報「SMILE」は第100号を迎えました！

第100号発行を記念し、「SMILE」の前身である「主査会会報」の第1号を別添しています。主査会設立の理念や当時の意気込み、時代の息吹などを感じていただければと考えています。



特別委員会のあゆみ  
(過去の研究テーマ)

連綿と受け継がれてきた情熱のトーチを引き継ぎ、

一緒に研究活動を深める特別委員会(来期)への応募もお待ちしております



### 総会・研修会のご案内

日時： 令和7年5月29日(木)午後2時30分～ 大阪市立阿倍野市民学習センター 講堂 にて

内容： 総会 および 研修会「大阪府教育庁 行政説明」

### 第26回 夏季フォーラムのご案内

日時： 令和7年7月30日(水)午後2時45分～ アウィーナ大阪 金剛 にて

テーマ： 「子どもが輝く未来社会の学校事務 ～学校DXで描く新時代の働き方～」

内容： 講演「今とこれからの教育 ～教育をデジタル化する意味は何か～」

講師 奈良教育大学 大学院 教育学研究科 スクールDX研究室 教授 小崎 誠二 様

主査会ホームページへ LOG IN ! →→ <http://syusakai.main.jp>



◇主査会に関するお問い合わせは

摂津市立味生小学校 浅田 悠摩まで TEL:06-6349-1853

